



食品に含まれる天然化合物を使った 病気の予防や治療法の開発

Keywords 細胞培養、食品残渣、メタボリックシンドローム、マイクロRNA

01 本研究の適用分野・用途

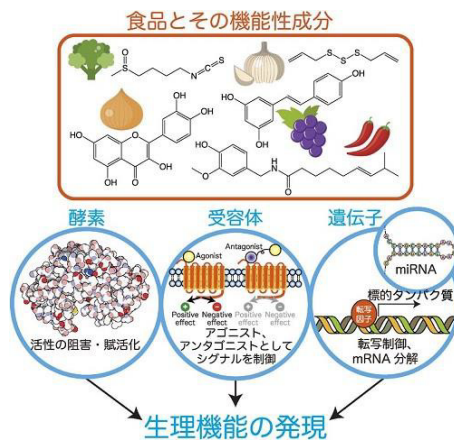
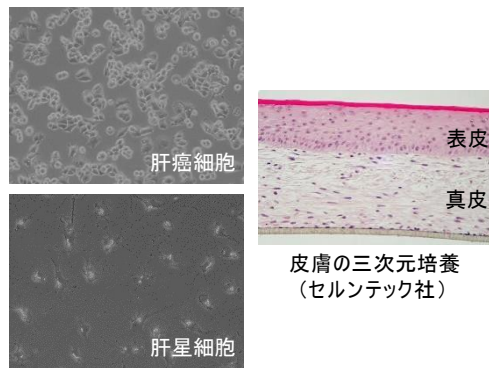
- 食品の新規機能性
- 食品残渣の有効利用
- 病気の診断ツール
- 核酸医薬

02 アピールポイント

- 食品(食品残渣も含む)に含まれる天然化合物を有効に利用し、病気になる前に健康な体を作る

研究概要

肝臓病態(脂肪肝や肝硬変)を中心に、天然化合物を使った病気の予防や治療に繋がる研究を行っている。食品には様々な病気を予防できる成分が多く含まれていて、食品の持つ新たな機能性が多数報告されている。その一つがマイクロRNA(miRNA, 22塩基前後の短い核酸)に関する研究で、miRNAはヒトの血液中に含まれていることから病気の診断ツールとして注目されているが、今後、miRNAを介した新たな食品の機能性が着目されている。本研究は肝臓や皮膚の細胞を使って、食品に含まれる天然化合物が細胞の増加や、遺伝子及びmiRNAの発現に与える影響を簡便に評価する。



(化学と生物Vol. 54, No. 12, 2016)

